

[解説]

製作時の肉厚測定点が定まっていない場合の処置について

次回の保安検査時に、外部から肉厚測定ができるよう、この開放検査時に測定点（肉厚を外部から測定するのに、測定可能な位置を数点）を定めることが望ましい。

なお、測定の精度をあげるために、測定面の表面仕上げ及び特殊ノギス等と超音波肉厚測定用器具との器差比較をし追跡調査ができるようにすることが望ましい。

2.6.2 耐圧試験の方法

a) 耐圧試験の時期

- 1) 保安検査時に（1回／年）耐圧試験を行う場合
- 2) 耐圧部材の内部について、構造上（死角又は作業不可の場合）、目視及び磁粉探傷試験又は浸透探傷試験が十分にできない場合
- 3) 開放検査の結果、有害な欠陥の溶接補修及び溶接を伴う改造・修理を行った場合

b) 試験方法 耐圧部材に常用の圧力の1.5倍以上の圧力をかけ、試験圧力保持時間5～20分後に、ふくらみ、伸び、漏えい等の異常の有無を検査する。

c) 判定及び処置

- 1) 昇圧中及び試験圧力保持中に、ふくらみ、伸び、漏えい等の異常がない場合は、合格とする。
- 2) 異常が発生した場合又は漏えいが認められる場合は、不合格とし、耐圧部材を新品と交換する等の処置を講ずること。

2.7 気密試験

a) 気密試験の時期 コンプレッサの気密試験は次の時期に行う。

- 1) 2.5によって分解点検を行ったとき。
 - 2) その他気密試験を行う必要があるとき。
- 2.1) 漏えい検査、稼働状況の検査等において漏えいや異常があったため、部分補修を行った後、気密試験を行う必要があると判断したとき。
 - 2.2) 保安検査において、処理設備、配管等について、常用の圧力によって気密試験を行うとき。
この際は事前検査においてもコンプレッサの気密試験を行う。

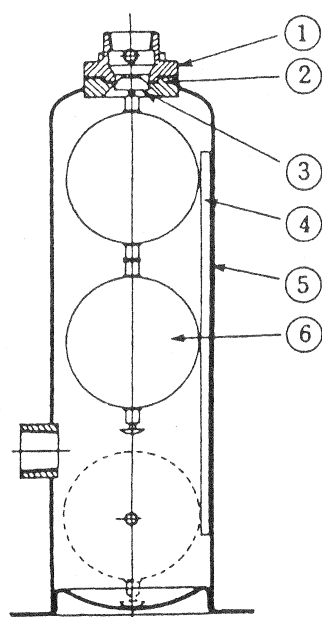
b) 試験方法

- 1) 気密試験圧力は、当該コンプレッサの常用の圧力以上の圧力とする。ただし、開放検査を行わない年は、運転状態のLPガスの圧力により気密試験を行っても差し支えない。
- 2) 気密試験は不活性ガスを用いて行う。
- 3) 気密試験に用いる圧力計は標準圧力計又は比較器差検査を行って合格した圧力計とし、その測定範囲は試験圧力を適切に測定できるものとする。
- 4) 気密試験における昇圧は徐々に行い、試験圧力に到達した後、10分以上その圧力を保持し、石けん水等の発泡液を耐圧部ねじ込み及びフランジ接合部ボルト締め付け接合部、軸封部等に散布又は塗布して、漏えいの有無を検討する。
- 5) 気密試験を終了した後は圧力を徐々に降下させる。

c) 判定及び処置

- 1) 気密試験を行って各部における漏えいがないときは合格とする。

- 2) 気密試験を行って漏えいが認められたときは、その漏えい部分の状況に応じて次の処置を行う。
- 2.1) 耐圧部分等に漏えいがあるときは、当該部品を適正なものに交換する。
 - 2.2) ねじ込み又はフランジ接合部、ボルト締め付け接合部に漏えいが認められたときは、圧力を完全に降下させた後、ねじ、フランジのガスケット当たり面、Oリング溝等を清掃し、シール材、ガスケット、Oリング等を新品に交換して修理し、再び同一手順で気密試験を行い、漏えいのないときは合格とする。
 - 2.3) 軸封部に保安上支障があると認められる漏えいがあるときは、圧力を完全に降下させた後、2.2.6によって分解点検を行って、軸封部を再組立又は必要に応じて新品と交換し、再び同一手順で気密試験を行い、保安上支障のない微量な漏れのないときは合格とする。
- 2.8 コンプレッサの附属機構等の検査 コンプレッサの附属機構等には、リキッドトラップ又はサクシオンチャンバ、オイルセパレータ、連結管、流れ切換装置（通称三方切換弁、四方切換弁、以下同じ）、安全弁、圧力計、圧力スイッチ、駆動機器、アンロード等がある。
- a) リキッドトラップ又はサクシオンチャンバ
- 1) 検査の時期
 - 1.1) 外観検査、基礎及び据付状態の検査、稼働状況の検査並びに漏えい検査はコンプレッサのそれぞれの検査と同時に行う。
 - 1.2) 分解点検又は耐圧・気密性能及び肉厚の確認をするための検査は5年ごとに行う。
 - 2) 検査方法 外観検査、基礎及び据付状態の検査、稼働状況の検査、漏えい検査、分解点検の準備、分解点検、耐圧試験、気密試験の試験・検査の方法は、JLPA 501 8.ドラム類の検査の検査方法による。
 - 3) 判定及び処置 外観検査、基礎及び据付け状態の検査、稼働状況の検査、漏えい検査、分解点検、耐圧試験、気密試験の試験、検査結果の判定及び処置は、JLPA 501 8.ドラム類の検査の試験・検査結果の判定及び処置による。



番号	品名
1	ヘッド
2	ガスケット
3	バルブ
4	フロートガイド
5	本体
6	フロート

図1-9 リキッドトラップの構造図